

マニラ地区洪水制御排水事業（ ）



ピタス ポンプ場

借款概要

承諾額/実行額	10,818百万円/9,058百万円
借款契約調印	1988年1月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1998年4月

事業概要

ポンプ場の建設及び河川・排水路改修を行うことにより、マニラ首都圏の中でも特に洪水被害の多いマニラ市のピタス地区及びサンアンドレス地区の洪水時の被害軽減を図るもの。

評価結果

ピタス、バルット及びサンアンドレスの3カ所の新設ポンプ場は、完成後、順調に稼動しており、各地の最大水深と浸水時間は事業前（1995年）と比較すると事業後は大きく低下しており、洪水程度の軽減効果が認められる。また、マニラ市の避難世帯数をみると、台風により大きな被害の出た1998年を例外とすると、低下傾向にあり（1996年492世帯、2000年266世帯）本事業の効果を認める事ができる。一方、住民（不法居住者）移転に想定以上の時間を要し、事業全体の遅延の原因となったが、実施機関によると、比国法に準拠して適切に行われ、特に大きな問題はないとのことである。維持管理機関によると、施設の管理状態は概ね良好であるが、維持管理上の問題は、住民が排水路に投棄するゴミでポンプ場の運転に支障をきたしている事である。同国政府と地方自治体の体系的な取り組みが必要となっている。